

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
新発田市	下水道事業	公共下水道	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行	
		○					

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等					
実施済	○	(実施類型)		(取組の概要及び効果)		(実施(予定)時期)	
		汚水処理施設の 統廃合	汚泥処理の 共同化	公共下水道(新発田地区)を流域関連公 共下水道として整備・供用開始(H14年度) し、処理場建設経費5,000百万円、年間運 営経費100百万円の削減となった。農排 (福島・米倉)地区の汚水について、流域関 連公共下水道へ接続を実施(H29年度・R 元年度)し、農排処理場年間運営経費12百 万円×2箇所削減となった。※試算では 米倉地区の公共下水道への接続工事費は 113百万円、既存農排処理施設の更新工 事費は77百万円であった。			
		維持管理・事務 の共同化	最適な汚水処理 施設の選択(最適化)				
実施予定						平成 14 年 10 月 1 日	
検討中		(取組の概要)		(検討状況・課題)			